

事務事業名 拡大重度障害者医療費支給事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1972

施策：	15	障がい者福祉の充実	財務コード	--
基本事業：	02	地域生活支援の基盤づくり	担当部	市民生活部
基本事業の成果指標	地域生活支援事業により生活改善されている障がい者等の延べ人数 自立支援医療（精神・更生・育成）による助成を受け、経済的負担が軽減されている障がい者等の人数		担当課	国保年金課
			担当係	医療年金担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
身体障がい者手帳1・2級、知的障がい者手帳A、精神手帳1級を持つ3歳以上中学生までの重度障がい者。			重度障がい医療支給制度の対象者にその者又保護者の経済的負担を軽減するために市単独で支給するもの。 （県負担金） 3歳～中学生 通院 500円・入院：500円/日（月7日上限）一般入院：300円/日（月7日上限）低所得						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
保護者への経済的負担を軽減する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度実績	06年度実績	07年度当初	08年度要求	09年度計画	10年度計画	目標
扶助費					627				
5. コスト									
事業費		計	千円	241	632				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
		一般	千円	241	632				
正職員人工数		人工		0.3	0.3				
正職員人件費		千円		2,407	2,514				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		2,648	3,146				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況> 医療費が増加した。 <原因> 令和6年10月から子ども医療助成内容拡大に伴い、同事業も同様に拡大したため医療費が増加した。 <課題> 医療費助成内容の拡充で今後の医療費の増加が見込まれ、令和7年10月からも拡大予定。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	対象者の助成内容を拡充することで、保護者の経済的な負担軽減に繋がっている。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和6年10月から子ども医療助成拡充に伴い実施									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
福岡県公費医療費支給制度として昭和49年10月に県補助事業として発足。平成20年10月から精神障がい者（精神福祉手帳1級）の助成開始。				令和6年度から重度障害者医療対策一般事業（297）は廃止されて、新たに拡大重度障害者医療費支給事業を新設					